

サステナビリティ経営

「2030年にめざす社会・めざす姿」の実現に向けてマテリアリティを特定するとともに、より実践的なサステナビリティ経営を推進するための体制を構築しています。



サステナビリティ担当役員メッセージ

サステナビリティ経営を 次のステージへ

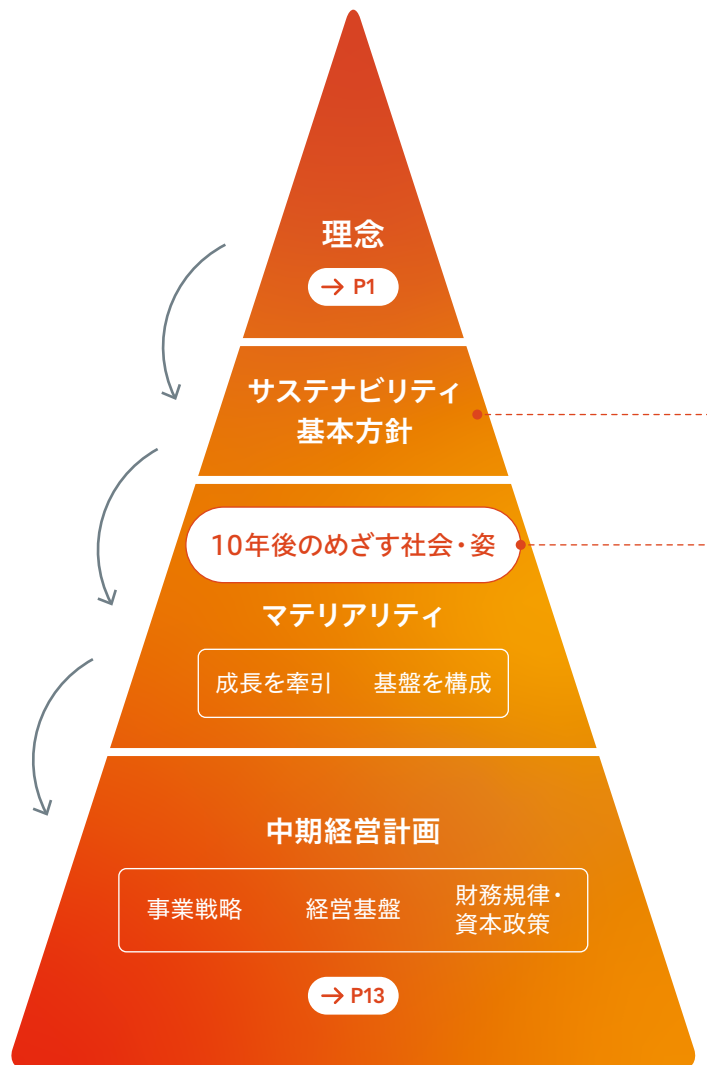
常務執行役員 企画グループ長
宇田 真也

サステナビリティ経営においては、事業を通じた社会課題の解決と持続的な収益の向上を並進させるとともに、ステークホルダーの皆さまからオリコが存在意義を認められることが重要だと考えています。こうした認識のもと、当社は新たな中期経営計画の策定を機に、社会価値と企業価値の両立をめざす「サステナビリティ」を経営の軸に据え、中期経営計画の上位に位置付けました(右図参照)。

同時に、「10年後のめざす社会／めざす姿」の実現に向けてマテリアリティを整理し、KPIを設定しました(→P15-16)。これらのKPIは財務目標と並ぶ非財務の経営目標と位置付けており、経営のコミットメントとして対外的に公表しています。

体制面では、2022年4月に代表取締役社長を委員長としてKPIの進捗管理や社内外のコミュニケーションなどについて審議する「サステナビリティ委員会」を立ち上げ、その直下に3つの部会を設置しました。それぞれの部会は各部門・グループの副部門長・副グループ長・部長で構成され、全社横断的な知恵を結集して深い議論を重ねることで、社会課題の解決に寄与する新事業創出や組織変革につなげていく方針です。

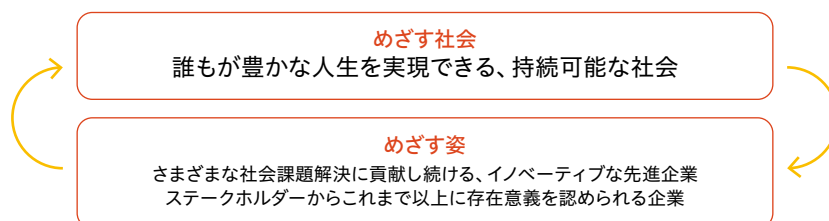
我々経営陣がめざす企業像は、社員一人ひとりが自らの仕事、部門、会社の社会的意義を理解し、「より良い社会の実現のために何をするべきか」を当たり前のように考える人材集団です。その実現のために、新たな推進体制のもと、私自身も強い覚悟と熱意を持ってサステナビリティ推進に魂を込めていきたいと考えています。



サステナビリティ基本方針

当社は、ステークホルダーの期待や要請を踏まえ、さまざまな社会課題の中から優先的に取り組む重要テーマを選定し、基本理念に掲げる「社会に貢献する企業」に相応しい金融商品・サービスの提供などの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上をめざします。

10年後のめざす社会・姿



めざす社会・姿の実現に向けたマテリアリティ



サステナビリティ推進体制

